

質問の件名及び質問の要旨(質問時間)	答弁を求める者
<p>1 ホストタウン交流事業について (40分)</p> <p>東京 2020 オリンピック・パラリンピックに向けて、鶴ヶ島市は、平成 29 年 7 月 7 日にミャンマー連邦共和国のホストタウンとして正式に登録されました。また市では、同年 10 月 24 日～25 日にかけて、ミャンマー保健スポーツ省から事務次官を代表とする視察団の受入れを行い、同国との間でオリンピックの事前トレーニングキャンプの実施に関する協定を締結したところです。</p> <p>これは鶴ヶ島市在住の今泉清詞氏が中心となって平成元年に設立された「今泉記念ビルマ奨学会」によるミャンマーからの留学生に対する支援やミャンマー本国での教育支援などの活動、鶴ヶ島市国際交流協会による市民から寄附された文具をミャンマーの子どもたちに贈る支援活動など、鶴ヶ島市における長年にわたる民間交流が実を結んだものと思われます。</p> <p>ホストタウンは、人的・経済的・文化的な相互交流を図ることを目的とした国の制度で、大会参加国の人々との交流を通じて外国を知り、日本を伝えるというものです。また、東京オリンピック・パラリンピックは、日本に世界の関心が集まるまたとないチャンスであり、このホストタウン交流事業は、市民が主体的にオリンピックに関わることができる大変意義のある取組だと考えています。</p> <p>東京 2020 オリンピック・パラリンピックまで 900 日を切りましたが、ミャンマーのホストタウン交流事業に関して、以下の質問を致します。</p> <p>(1) 埼玉県内及び近隣市におけるホストタウンの登録状況は。</p> <p>(2) これまでのホストタウン交流事業の内容と現状について</p> <p>(3) 2020 年までの事業予定と今後の課題について</p> <p>(4) ホストタウンとして本市が目指すものは。</p>	<p>市長 教育委員会教育長</p>